

## ☆先生たちの学習体験談①☆

期末テストが終わり、1学期も終わりが近づきました。待ちに待った夏休み。夏休みは、学校の授業がないので新しい内容を覚える機会は少なくなります。その代わりに、1学期や、前学年までの学習内容を復習し、2学期からの新しい学習に備える必要があります。期末テストを振り返り、まだ習得が不十分だった内容を、夏休み中に押さえておくことが大切です。

しかし、家でいざ勉強!となっても、なかなか手に着かないこともあるでしょう。

今回は、「**大東中の先生たちは、どんなふうに考えて勉強を頑張っていたのか**」を聞いてみました。夏休みに自分の**やる気スイッチ**を入れるきっかけにしてみましょう!

Q: 中・高時代はどんな目的で学習していましたか。

A: 中学校1年生で私が勉強した理由はただ一つ。大好きな先生に褒められたかったからです。褒められたくて、自ら予習・復習を一生懸命頑張りました。予習ノートをわざとらしく授業中に机の上にひろげアピールしました。

今、このような職業につき・・・「好き」って勉強に大きく作用するなと改めて思います。

**脳は、まず「好き・嫌い」で動きます。「好き」だと活発にはたりますし、「嫌い」だと機能停止します。**

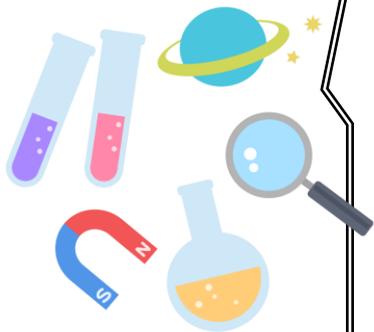
まずは「好き」な教科から頑張りはじめてみてください。

Q: 先生の考える「中学生時代」(高校時代)の学習の意味とは?

A: **社会に出る前に学ぶべきものを学べる大切な時間。**  
(その権利も有する。)

Q: 中学生にお勧めしたい勉強法

A: 自分がやっていたのは・・・英語の教科書の**丸暗記**。帰り道に独り言のように本文を唱えていました。怪しい中学生でした。



高橋知栄子  
教頭先生

Q: 中・高時代はどんな目的で学習していましたか。

A: ①とりあえずいい点とらなきゃ・・・

②ライバルに負けたくない

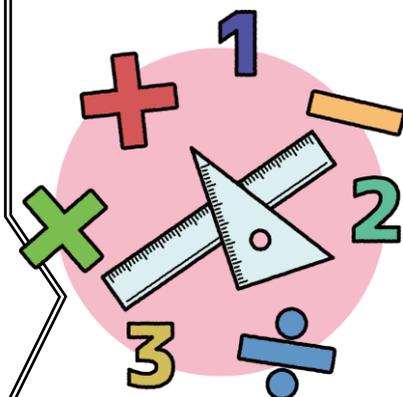
③苦手教科はあったが新しいことを学ぶことは好きだった

Q: 先生の考える「中学生時代」(高校時代)の学習の意味とは?

A: 授業で学んだことのすべてが人生の中で役に立つかは分からないけど、直接役に立つこともあるし、学習の中で脳を鍛えることで、**論理的な考え方や物事を計画的に進めていくことができるようになる。**それは生きていく上でとても大切な力だと思う。もちろん授業だけでなく、**友達との関わりの中で様々な学びもある。**みんなには学校でそういうことも学んでほしいと思う。

Q: 中学生にお勧めしたい勉強法

A: 家に帰ると疲れてすぐに休憩を取りたくなる。10分だけが、30分、1時間となり、結局勉強が始められない。**多少疲れていても、運動した後などはアドレナリンが出ていて、やり始めると気づいたら集中して1時間経っていたなんてこともある。**自分は教員採用試験の勉強をするのに、サッカーの練習(当時はまだ現役)から**帰ってきた直後にやることで結構集中してできていた**かなと思う。



天川学先生

いかがだったでしょうか。「まなぶ(まなぶ)」の語源は、「まねぶ(真似ぶ)」。つまり、学習とは真似することでもあります。なるほどな、と思う考え方はぜひ真似してみてください!